

H151 現代宗教論	
英名科目名	Contemporary Religion
大学名	佛教大学
連絡先	学生支援課 TEL 075-491-2141(代)
担当教員	大谷 栄一(現代社会学科 教授)
開講期間	2021年09月20日(月)~2022年02月10日(木) 3講時 12時50分-14時20分(毎週火曜日) 最終週は定期試験週 なお、以下の日程は授業日ではありませんので注意してください。 2021年9月23日(木・祝) 秋分の日 2021年11月1日(月)~11月3日(水) 学園祭開催の為 2021年11月23日(火)~11月25日(木) 公募制推薦入試の為 2021年12月24日(金)~2022年1月7日(金) 年末年始休暇の為 2022年1月10日(月・祝) 成人の日 2022年1月14日(金) 大学入学共通テスト準備の為 2022年2月1日(火)~2月3日(木) 一般入試A日程の為
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 火曜日 3講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	紫野キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	10 京カレッジ生定員
試験・評価方法	・定期試験(教室)50% 到達目標で示した到達度によって評価する。 ・授業内課題50% 毎週のアクティブラーニングへの取り組みと発言状況によって評価する。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	
別途負担費用	
その他特記事項	
パッケージ科目	
低回数受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>授業のテーマ 現代社会に宗教は必要か？ 授業の概要 現代社会に宗教は必要なのだろうか？このことを現代日本社会の宗教をめぐるさまざまな動向や現象を通じて考える。科学が発展すれば、宗教は衰退するという世俗化論が20世紀半ばから後半にかけて世界中で盛んに論じられた。しかし、1980年代以降、世界では世俗化が進む一方、宗教復興という潮流も顕著になった。現代日本社会でも宗教の世俗化や消費主義化が進む一方、宗教の公共性や身近な宗教体験、移民の信仰が話題になっている。</p> <p>そこで、この授業では「現代日本の宗教問題」「地域にねざした宗教伝統」「多文化化する日本社会」「修行の現場」「死者と向き合う」の5つのテーマに分け、毎回、個別の事例を紹介しながら、「現代日本社会と宗教」の関係について検討していく。</p> <p>授業の目的・ねらい 現代社会における宗教の役割を検討することが、この授業の目的である。とりわけ、日本の現代宗教をめぐるさまざまな動向や現象を学び、その機能や意義を考えてもらう。</p> <p>なお、この授業では、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び、以下、AL)の手法を用いる。毎回、グループワークによるALを体験することを通じて、「現代日本社会と宗教」の関係に関する自分なりの見解を磨き上げることをめざす。</p> <p>ただし、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、授業の実施形態については判断する。</p> <p>到達目標</p>	

- (1) 現代社会における宗教の役割を理解する。
(2) 宗教を社会的に分析する視点を身につける。
(3) アクティブラーニングを通じて、自分の見解を表明できるようにする。

授業時間外の学修(予習・復習等)についての具体的な指示
毎回、授業終了後に授業中に配布した資料を読み直し、復習をしたうえで、翌週の授業に臨むこと。

受講にあたっての留意事項

この授業の基本的形態・方法は、グループワークによるアクティブラーニング(主体的・対話的で深い学習、以下、AL)である。教員の説明 授業内容に関する動画の視聴 グループワークという流れで授業を実施する。

ALは、グループ・ディスカッション、ポスターセッション、相互インタビュー、ディベート、シンク・ペア・シェア、KJ法、ジグソー法、ケースメソッド、ロールプレイ等、さまざまな技法で実施する。こうした作業を通じて、受講者が自分たちで「考える」「話し合う」「分析する」「発表する」「書く」ことを行ってもらおう。そのため、受講者の主体的・積極的な授業参加が不可欠である。

なお、授業中の私語と携帯電話の使用は他の受講者の迷惑となり、グループワークの妨げになるので、厳禁とする。遅刻も認めない(10分を超えたら、電車が事故で遅れたなどの公的な理由がない限り、出席は認めない)。

講義スケジュール

毎回の授業のテーマ・内容

- 第1回 イントロダクション 授業の内容と進め方の説明
第2回 <現代日本の宗教問題> 日本人の宗教性とは？
第3回 <現代日本の宗教問題> 寺院は消滅するのか？
第4回 <現代日本の宗教問題> カルト問題を考える
第5回 <地域にねざした宗教伝統> 四国遍路と若者
第6回 <地域にねざした宗教伝統> 京都の祭り
第7回 <多文化化する日本社会> 生駒の在日コリアン寺院
第8回 <多文化化する日本社会> 渋谷のイスラム寺院
第9回 <多文化化する日本社会> 愛知のベトナム寺院
第10回 <修行の現場> 永平寺で修行する
第11回 <修行の現場> 禅寺でのブチ修行
第12回 <修行の現場> 修験道を体験する
第13回 <死者と向き合う> 看取りとターミナルケア
第14回 <死者と向き合う> お墓のニュースタイル
第15回 <死者と向き合う> 東日本大震災後の死者の記憶

教科書

参考書